

2016年9月27日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

**（株）さが美の普通株式及び同社向け貸付債権の譲受けに関する申入れについて
友好的な実行に向け、23日にユニー・ファミリーマートHDに申入書を提出**

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東 泰志、以下「NHC」）が管理運営するニューホライズン 2号投資事業有限責任組合（以下「NH-2」）は23日、ユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社（以下「ユニー・ファミリーマートHD」）が保有する株式会社 さが美（東京証券取引所市場第一部上場、以下「さが美」）の普通株式（21,994,126株）の全て、及び「さが美」向けの貸付債権（額面34億円）を譲り受けるために、「ユニー・ファミリーマートHD」の取締役会に申入書を提出しましたので、お知らせします。

なお、本件取引は、「ユニー・ファミリーマートHD」及び「さが美」の取締役会と協議の上、両社のご同意・ご賛同のもと実行されることを前提としております。

本申入れについては、「NHC」において2016年9月23日に開催された「NH-2」の投資意思決定機関である投資委員会において承認を得ております。「さが美」の普通株式及び同社向け貸付債権の譲受けに関する申入れの条件は、下記の通りです。

記

	NH-2	AG2	差異
① 対象株式の買付価格（円/株）	70	56	14
② 対象株式数（千株）	21,994	21,994	-
③ 対象株式の買付価格の総額（百万円）（①×②）	1,539	1,231	307
④ 対象貸付債権の取得価額（百万円）	1,800以上	1,800	（注）
⑤ 合計（③+④）	3,339以上	3,031	307以上
⑥ 第三者割当増資引受額（百万円）	500	-	500
⑦ 投資合計（百万円）（⑤+⑥）	3,839以上	3,031	807以上

注：「NH-2」は対象貸付債権を18億円以上で譲り受ける意向であり、具体的な金額は「ユニー・ファミリーマートHD」と交渉のうえ決定させていただきます。

以上の通り、「NH-2」の申入れの条件は、2016年9月1日付で「ユニー・ファミリーマートHD」と合併したユニーグループ・ホールディングス株式会社（以下「ユニーグループHD」）

が、同年 8 月 17 日に適時開示したアスパラントグループ株式会社が管理運営する AG2 号投資事業有限責任組合（上記表において「AG2」と表記）による現在進行中の公開買付けの条件等に比べて、「ユニー・ファミリーマート HD」や「さが美」の株主など利害関係者の利益に資するものであると確信しております。なお、第三者割当増資は本件株式の譲渡が終了後に、「さが美」の取締役会にて決議の上、実行する予定です。また、状況によっては上記株式買付価格を更に引き上げる余地もあると考えております。

「NHC」と「さが美」との関わりは、2007 年頃にさかのぼります。「NHC」は、数多くの事業再生の実績に加え、弊社の前身のフェニックス・キャピタル株式会社において和装卸の市田株式会社を支援した経験が評価され、この頃から「さが美」の再生計画案について経営陣らとの意見交換を継続しており、親密な関係を構築させていただいております。

特に、「NHC」は 2015 年 3 月の株式会社ファミリーマートと「ユニーグループ HD」との経営統合に向けた協議開始や同年 10 月の基本合意書締結が公表されたことを受け、これが実現されれば、グループにおける「さが美」の立場がノンコア事業と位置付けられ、資本関係はじめ資金面で独立が求められる公算が強いと判断し、2015 年 7 月に「さが美」経営陣に対して、また同年 12 月には「ユニーグループ HD」に対して、黒字化と財政基盤強化を早期に実現するための事業構造改革計画案と、そのために必要な資金を賄うための増資、及び、「ユニーグループ HD」が持つ「さが美」株式の一定割合までの買い取りを提案しました。このとき提案したいくつかの施策は、「さが美」が 2016 年 3 月に『事業構造改革の実施について』で開示した再生案に反映され、実行されたものと理解しております。また、当時は、株式買取価格については 75 円～100 円、債権放棄は求めないという条件を提示しておりました。

「NHC」は「さが美」の事業と再生への取り組みを高く評価しています。本件は、今まさに国を挙げて世界に冠たる日本の伝統文化を守り、復興させようという国家戦略に叶うものであり、「さが美」の「さが」は京都・嵯峨の地名から命名されたという由来を大切に、経営陣と共に全力できもの事業の再生と成長に挑み、日本の伝統である呉服・きもの文化の振興に貢献したいと切に願っています。

以上

ニューホライズン キャピタル株式会社

産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系企業再生（PE）ファンド。2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から2006年10月の会社分割を経て通算13年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,500億円超）を背景に、NHCとして2本目、創業から8本目のファンドを運営しています。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iaeホールディングス、たち吉、武田産業、Shade3D社など、開示可能なエクイティー投資先だけで35社、全体では90社以上という日本随一の企業再生・再編成長投資実績を有しています。

本件に関する問い合わせ先：

NHC 広報担当（IFC）竹江、連絡先 03-5532-8921